

# 3D天体軌道ナビゲータ Hipparchus ヒッパルコス

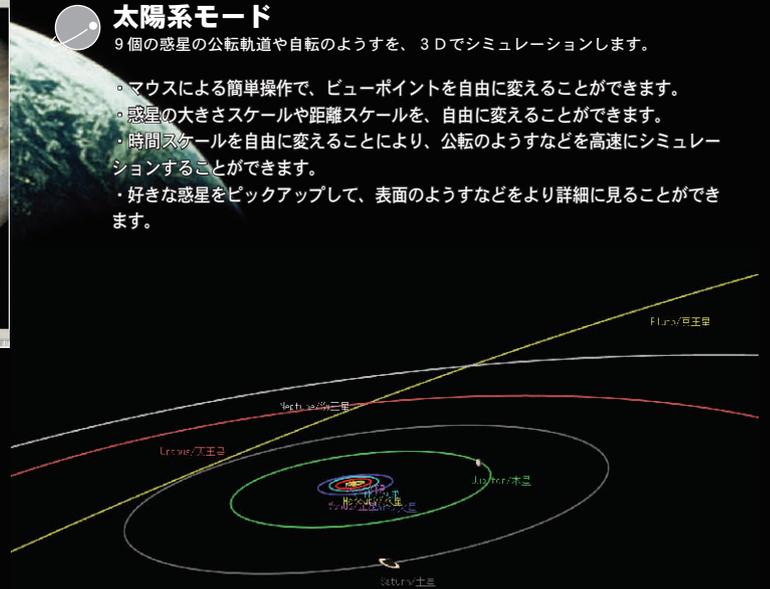
「ヒッパルコス」は、リアルな3Dグラフィックスを使った太陽系や人工衛星の軌道シミュレーションを、簡単な操作で見ることができるソフトウェアです。

## 基本機能

### 太陽系モード

9個の惑星の公転軌道や自転のようすを、3Dでシミュレーションします。

- ・マウスによる簡単操作で、ビューポイントを自由に変えることができます。
- ・惑星の大きさスケールや距離スケールを、自由に変えることができます。
- ・時間スケールを自由に変えることにより、公転のようすなどを高速にシミュレーションすることができます。
- ・好きな惑星をピックアップして、表面のようすなどをより詳細に見ることができます。



## 様々な追加オプション機能

### イベント・シミュレーション機能

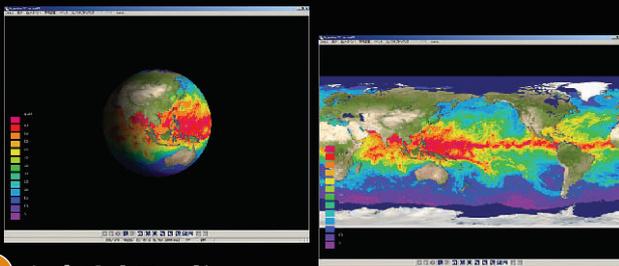
- ・JAXAの「はやぶさ」ミッション
- ・国際宇宙ステーション(ISS)ミッション
- ・太陽系の小惑星シミュレーション

など、ヒッパルコスへの追加イベントを順次リリースする予定です。

また、本ソフトを使った業務用機能として、以下の追加オプションを用意しています。

### プロダクトブラウジング機能

JAXAより提供されている、人工衛星観測データ(プロダクトデータ)を3D画像として表示する機能です。  
全球データの変化をアニメーションさせて表示することもできます。



### シナリオモード

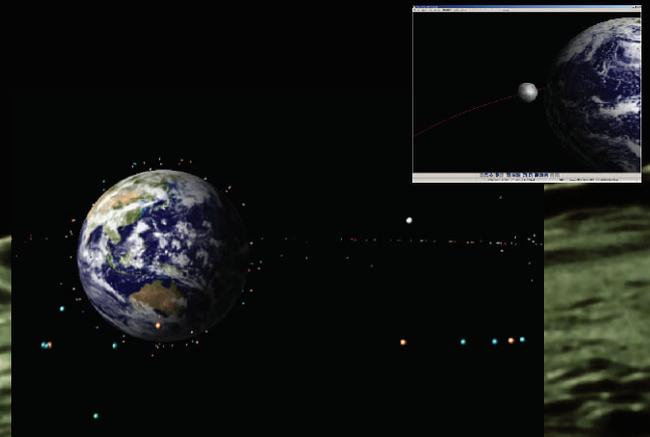
「ヒッパルコス」をプレゼンテーションに利用したり展示会等に出展する際に、あらかじめ決めたシナリオに沿った動きをオーサリングすることによって、連続的に自動動作させることができます。  
シナリオモードでは、マニュアル操作を自動再生するほかに、テロップ表示やテキストデータの自動音声読み上げなど、プレゼンテーションを補助する機能があります。

- ・高解像度の地球観測、撮影データを利用した、シームレスな地球ズームイン
- ・NASA 2lineフォーマットデータの自動アップデート機能
- ・人工衛星やスペースデブリとの接近解析機能
- ・プラネタリウム機能

### 惑星モード

惑星を周回する人工衛星の軌道を、3Dで解析シミュレーションします。※1

- ・軌道の解析計算には、軌道要素(NASA 2Line)形式を採用しています。
- ・人工衛星を詳細な3Dモデルで表示させることができます。※2
- ・人工衛星を高度などによって絞り込んだり、打ち上げからの年数により色分けして表示させることができます。
- ・解析シミュレーションをワールドマップ形式(2次元)で表示させることができます。
- ・惑星の衛星(月)を簡易表示させることができます。



※1: Version3.1では惑星モードに移行できる惑星は「地球」のみとなります。

※2: ベーシック版では、3Dモデルを表示できる人工衛星は「Aqua」のみです。それ以外の人工衛星の3Dモデルはオプションとなります。センサーやパドル(太陽電池パネル)の回転など、パーツ駆動動作シミュレーションが可能な3Dモデルも用意しております。3Dモデルの無い人工衛星は「球」で表示されます。

### 環境設定機能

お使いのPCスペックにあわせて、3D表示クオリティをチューニングすることができます。

動作環境 [OS] 日本語 Microsoft Windows 2000 / XP [CPU] 500MHz以上 [メモリ] Windows 2000 128MB以上(推奨256MB以上) / Windows XP 256MB以上(推奨512MB以上) [ハードディスク] 150MB以上の空き容量 [グラフィックカード] GeForce3相当以上推奨 [ディスプレイ] 解像度: 800×600以上、High Color (65536色) 以上推奨